

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (382), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (385), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (390), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (394), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section for the project.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section.

Table for post-evaluation including current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 395 課コード 0504 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 ■経常 □なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ②実施計画への位置づけ, ③事業主体, ④対象地区, ⑤事業期間, ⑥担当職員数, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5) 現況値, (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討
(8) 施行事項: 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度, 令和5年度
(9) 財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 一般財源, その他の財源
(10) 人件費等: 換算人数(人), 正職員人件費, 嘱託職員報酬額, 臨時職員賃金額
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標): 18.44千円/人, 18.61千円/人, 19.31

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) (1) 目標設定は適切か?
(6) (2) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善案及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (396), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, and financials.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (397), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	398	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし	
<b>1. 事業の概要 (PLAN)</b>										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 障害児者一時支援事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.1人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	40,685千円 (うち人件費 890千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ 重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市障害者プラン		
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。	事業目的	障害を持つ方の一時支援の場を提供し、家族や介護者の一時的な休息を可能にすることや、事情により介護や見守り等ができないとき、一時的に過ごすことのできる場所やサービスを地域で保障することで、保護者やその家族がともに安心して暮らしていただけるようになります。						
(3) 事業内容	内容	障害を持つ方の日中の一時支援の場を提供し、家族や介護者の一時的な休息を可能にすることや、事情により介護見守り等ができないとき、一時的に過ごすことのできる場所やサービスを地域で保障することで、保護者やその家族がともに安心して暮らしていただけるようになります。日中(午前7時~午後7時)の一時支援は、市と委託契約した事業所において実施しています。	当該年度執行計画	日中の一時支援 利用申請受付 随時 利用決定 随時 決定通知書の交付 随時 事業所への委託料の支払い 毎月 必要に応じた委託契約の実施						
			当該年度活動結果指標	一時支援事業の年間実利用人数	単位	人	想定値	145	実績値	143
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)		指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	障害児者の家族や介護者への一時的な休息の提供		間接	一時支援事業の年間実利用人数		人	143	140		
令和4年度	障害児者の家族や介護者への一時的な休息の提供		間接	一時支援事業の年間実利用人数		人		145		
令和5年度	障害児者の家族や介護者への一時的な休息の提供		間接	一時支援事業の年間実利用人数		人		150		
(7) 事業実施上の課題と対応	障害者の社会参加と家族の介護負担軽減や家族の就労を支援するためには重要な事業です。今後もサービスの充実を図るためにも、事業者の拡大等について検討していきます。18歳未満の障害児者については、「放課後等児童デイサービス」を利用できるため、対象児童の適切なアセスメントに努める必要があります。		代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		日中一時支援事業委託料	40,020	日中一時支援事業委託料	38,454	日中一時支援事業委託料	38,454	日中一時支援事業委託料	38,454	
		パート会計年度職員 事務補助×0.5人	1,311	パート会計年度職員 事務補助×0.5人 (3月補正) 日中一時支援事業委託料	1,341 △10,960	パート会計年度職員 事務補助×0.5人	1,341	パート会計年度職員 事務補助×0.5人	1,341	
		合計	41,331	合計	28,835	合計	39,795	合計	39,795	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 31%	12,406	補助率 34.95%	11,920	補助率 30%	11,920	補助率 30%	11,920	
	県支出金	補助率 15.5%	6,203	補助率 17.45%	5,960	補助率 15%	5,960	補助率 15%	5,960	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		22,722		10,955		21,915		21,915	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.1		0.1		0.1		0.1	
	正職員人件費		870		890		890		890	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		42,201		29,725		40,685		40,685		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		301.44千円/人		205千円/人		185.86				
<b>2. 事業の評価 (DO+CHECK)</b>										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	日中の一時支援は、障害者総合支援法の地域生活支援事業に位置付けられています。通所サービス利用後や、休日の一時支援の場は、ニーズの高いものになっています。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 日中一時支援の申請受付から利用までの流れを円滑に行い、障害者や家族の安心した地域生活へとつなげた。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 障害者総合支援法に定められた地域生活支援事業であり、市以外の実施は困難である。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要		
	143	140	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症対策を想定し、実情に合った目標設定としたため。		○要 ●不要	
	143	102.14			26,578	89.41			○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要	
	29,725	12,476	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		26,578	89.41	<想定どおり削減できなかった原因>  <超過理由等> 新型コロナウイルス感染症対策の影響が長期化し、利用者数が少なかったため。		○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要	
	0.47	人	費用単位	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症対策の影響が長期化し、昨年度に引き続き利用者数は少なかった。その一方、障害者の活動場所の確保や家族の休息等の利用ニーズは高く、サービス提供事業所は感染対策を行い、受入れ体制の整		
<b>3. 事後評価</b>										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	400	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	個別事業 権限移譲に伴う障害福祉サービス事業者指定事務	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.95人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	9,115千円 (うち人件費 8,455千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市障害者プラン
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。				事業目的	事業者の適切な指定と、指定事業の実施について指導及び命令を行います。				
(3) 事業内容	内容	我孫子市に事業所を置く、指定障害福祉サービス事業者（居宅介護・短期入所・共同生活援助・相談支援事業）の監査及び指定に関する権限を平成19年4月から、千葉県から移譲を受けたことにより、所定の事務を行います。 障害者総合支援法に規定されている事務のうち千葉県より権限移譲されている対象事業に対してLWG W AN-ASPサービスを利用した指定事業所管理システムを使用し、指定情報を管理します。				当該年度執行計画	サービス事業所の実地指導・・・16事業所				
		当該年度活動結果指標	実地指導の件数	単位	件	想定値	16	実績値	16		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	適時事業者への情報提供や連携をすることで、不正支給を未然に防ぐことができます。				直接	事業者実地指導件数		件	16	16	
令和4年度	適時事業者への情報提供や連携をすることで、不正支給を未然に防ぐことができます。				直接	事業者実地指導件数		件		16	
令和5年度	適時事業者への情報提供や連携をすることで、不正支給を未然に防ぐことができます。				直接	事業者実地指導件数		件		16	
(7) 事業実施上の課題と対応	基準の内容や手続きの方法が細かく煩雑で、制度改正への対応も必要になる。事業者の正確な理解のため、また新任の担当者がなるべく早く習熟できるよう整理し、情報提供、集団指導やHPを充実させる。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			障害福祉サービス事業者指定事務		障害福祉サービス事業者指定事務	660	障害福祉サービス事業者指定事務	660	660	障害福祉サービス事業者指定事務	2,750
			障害者総合支援法指定事業所管理システム使用料	660	障害者総合支援法指定事業所管理システム使用料	660	障害者総合支援法指定事業所管理システム使用料	660	660	障害者総合支援法指定事業所管理システム使用料	660
		予算(決算)額	合計		660	合計		660	660	合計	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	41.5%	1,196	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		660		660		660		660	2,214	
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.25		0.95		0.95		1.25			
	正職員人件費	10,875		8,455		8,455		11,125			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	11,535		9,115		9,115		11,785		14,535		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	823.93千円/件		569.69千円/件		569.69						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業者及び相談支援事業者を行う者の指定等の事務及び監査等を実施することで、自立支援給付対象サービス等の質の確保及び自立支援給付の適正化を図ることを目的としています。なお、「千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成12年3月24日条例1号)」に基づき指定及び監査に関する権限を千葉県から移譲されて実施しているものです。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 引き続き、県からの権限移譲事務を実施しました。				○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし									○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし									●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成			
	16	16	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 計画通りに指導を実施しました。			
					16	100				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>			
	9,115	2,420	<削減の内容>		9,115	100	<超過理由等>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0.18		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			
			件	10万円	0.18	100				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (401), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the evaluation and future improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	402	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	個別事業 在宅サービス支援事業	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	12,577千円 (うち人件費 1,335千円)		(変更後)	12,843千円 (うち人件費 1,335千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	外出が困難な障害者に対して、施設等で作った弁当を定期的に届けることで、安否確認及び栄養バランスの良い食事を提供する。また、理容業者を派遣し、障害者宅で理容を行うことで、本人及び介護者の外出介護の軽減を図ることを目的とする。					
(3) 事業内容	内容	【理容サービス】 外出が困難で、家族等だけでは理容を行なうことが困難な身体障害者に対して理容サービスを提供する。利用回数は年間4回（1年度で4枚理容料助成券を発行） 【配食サービス】 障害者のみの世帯又は日中長時間独居で生活する障害者で、安否の確認が必要な者に対して、栄養のバランスのとれた弁当を提供する。配食回数については本人の身体状況により、決定する。 【訪問入浴サービス】 重度の身体障害者等のうち、1人もしくは家族等の介助だけでは自宅での入浴が困難な者に対し、移動入浴車で自宅まで搬入し介護士とヘルパーの介助により寝たままの状態に入浴を行う。			当該年度執行計画	【理容サービス】発行された理容料助成券の枚数範囲内で対象者が理容技術者に理容サービスを依頼、理容技術者が随時訪問し、理容サービスを提供します。 7月、10月、1月、4月に我孫子理容組合長からの請求に基づき、理容料の市助成額を支払います。 【配食サービス】決定された週当たりの回数により、定期的に配食サービスを提供します。 【訪問入浴サービス】委託契約した市内3事業者がおおむね週1回の割合で利用者宅を訪問し、入浴サービスを実施します。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	サービスの利用希望者が、必要な時にサービスを利用できる体制を維持し、本人の生活の向上及び介護者の負担軽減を図ります。				直接	申請者の利用度（サービス利用者数/申請者数）		%	100	100	
令和4年度	サービスの利用希望者が、必要な時にサービスを利用できる体制を維持し、本人の生活の向上及び介護者の負担軽減を図ります。				直接	申請者の利用度（サービス利用者数/申請者数）		%		100	
令和5年度	サービスの利用希望者が、必要な時にサービスを利用できる体制を維持し、本人の生活の向上及び介護者の負担軽減を図ります。				直接	申請者の利用度（サービス利用者数/申請者数）		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	理容サービスについては、年々利用者が減少している。また、民間の理容店や美容室等で訪問サービスしているところも増加している傾向にあり今後見直しが必要と考える。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		理容サービス派遣報償費	99	理容サービス派遣報償費	93	理容サービス派遣報償費	93	理容サービス派遣報償費	93	理容サービス派遣報償費	93
		配食サービス委託料	687	配食サービス委託料	647	配食サービス委託料	647	配食サービス委託料	647	配食サービス委託料	647
		訪問入浴サービス	6,750	訪問入浴サービス	10,375	訪問入浴サービス	10,375	訪問入浴サービス	10,375	訪問入浴サービス	10,375
予算(決算)額	合計	7,536	合計	11,508	合計	11,242	合計	11,242	合計	11,242	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	28%	2,110	補助率	34.95%	3,216	補助率	28%	3,216	
	県支出金	補助率	14%	1,055	補助率	17.45%	1,608	補助率	14%	1,608	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	4,371	6,684	5,071	6,418	6,418	0	6,418	0	6,418	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15		
正職員人件費	870	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335		
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	8,406	12,843	10,859	12,577	12,577	12,577	12,577	12,577	12,577		
(11) 単位数費用 (事業費/活動結果指標)	400.29千円/人	611.57千円/人	361.97								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	重度の障害者等が在宅での日常生活を送る上で、入浴や栄養バランスのとれた食事を提供するサービスはなくてはならない事業と考えられます。また、外出が困難な重度障害者宅へ理容業者が訪問し散髪を実施することにより、本人及び介護者の負担を軽減できる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 重度の障害者について在宅の日常生活を支援するためには、バランスのとれた食事のサービス、理容サービス、入浴サービスを提供し、利用者本人の生活の質の向上及び家族の負担軽減を図るうえで重要である。 ■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				実施した具体的な内容				環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況	実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	●①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 利用者に適切にサービスを提供できた。		○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託	実施状況	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因> コロナ禍で在宅サービスの需要が増加し、事業費が増加した。		○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> コロナ禍で在宅サービスの需要が増加し、事業費が増加した。		○要 ●不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	403	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-----	-----	-----

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	日常生活支援の充実		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課	
		個別事業	福祉タクシー乗車料金の助成							
	③事業主体	●市 ○その他 ( )				④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市			
	⑤事業期間	～				⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.1人	
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	15,224千円 (うち人件費 890千円)			
				(変更後)	9,287千円 (うち人件費 890千円)					
(2) 目的	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302		重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	
	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。				事業目的	タクシー利用時に乗車料金の一部を助成し、重度障害者の外出や社会参加を支援します。			
(3) 事業内容	内容	重度の心身障害者に対し福祉タクシー券を交付し、外出時に市と契約したタクシー事業者を利用したときに、乗務員に券を渡すことによって、市の助成額を差し引いて支払うことができる制度です。又、我孫子市では、契約外の事業者（主に市外事業者）を利用したときに、領収書と券を対して市に申請することで、償還払いも受けることができます。 ■対象者 重度身体障害者 重度知的障害者 重度精神障害者 ■交付枚数 年間48枚（透析者は年間96枚） ■助成額 タクシー券1枚につき初乗り料金分				当該年度執行計画	タクシー券交付 償還払い分助成 利用者からの申請により、毎月助成 タクシー事業者支払分 事業所からの請求により、毎月支払い			
		当該年度活動結果指標	タクシー券交付人数	単位	人	想定値	1,010	実績値	865	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	対象者にタクシー券を交付し、外出や社会参加を支援します。				間接	タクシー券交付人数		人	865	1,010
令和4年度	対象者にタクシー券を交付し、外出時や社会参加を支援します。				間接	タクシー券交付人数		人		1,015
令和5年度	対象者にタクシー券を交付し、外出時や社会参加を支援します。				間接	タクシー券交付人数		人		1,020
(7) 事業実施上の課題と対応	令和3年度は、要綱改正に伴い助成額が変更になるため、利用者・事業者ともに混乱しないよう周知する。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			償還払い分助成費	846		償還払い分助成費	1,184		償還払い分助成費	1,184
			タクシー事業者利用助成費	10,966		タクシー事業者利用助成費	12,865		タクシー事業者利用助成費	12,865
			福祉タクシー券ナンバーリング委託料	81		福祉タクシー券ナンバーリング委託料(3月補正) 福祉タクシー助成費	△5,937		福祉タクシー券ナンバーリング委託料	58
	合計	12,108		合計	8,397		合計	14,334		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		12,108		8,397		7,864		14,334	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	0	0	0	0	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3		0.1		0.1		0.3		
	正職員人件費	2,610		890		890		2,670		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	14,718		9,287		8,754		17,004		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	14.57千円/人		9.2千円/人		10.12					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	我孫子市は幅員の狭い道路が多くあるため、バスの運行ルートが制限され、国道を中心にバス停が設置されていることから、ドアtoドアでのタクシー利用は、車イス者や視覚障害者、内部障害による歩行制限がされている方にとって、有効な交通手段です。福祉タクシー助成事業は、通院等をはじめとした外出の機会を支援し、障害者の日常生活の利便を図ることにより、障害がある方の社会参加を促進する必要な事業です。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 福祉タクシー券の交付により、重度障害者の社会参加を支援することができた。				○要 ●不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	理由		その他の内容		理由		その他の内容		改善検討		
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容> 助成事業のため		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市の助成事業であるため		○要 ●不要		
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		改善検討		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	達成状況		改善検討		
	865	1,010	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	865	達成率(%)	85.64	○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 福祉タクシー券の利用希望者に対して、交付を行ったが、想定より申請は少なかった。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	事業費の削減対策について		改善検討	
	9,287	5,431	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		8,754	94.26	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		達成状況		改善検討		
	10.88	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	9.88	対目標値(%)	90.81	○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルスの影響で障害者の外出が減り、タクシー券の利用が減少したため。		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (404), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (405), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for 令和2, 3, 4, 5年度.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the evaluation and future improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	406	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
<b>1. 事業の概要 (PLAN)</b>											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 障害者プランの策定・推進	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課				
	③事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市							
	⑤事業期間	令和3年度～令和5年度	⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.4人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 3,656千円 (うち人件費 3,560千円)	(変更後) 3,560千円 (うち人件費 3,560千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302 重点プロジェクトへの位置づけ 重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)	第6次健康福祉総合計画				
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。	事業目的	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス、地域生活支援事業のサービスの令和3年度から令和5年度までの提供体制の確保や充実のための目標値や方策を定め、計画の推進を図ります。							
(3) 事業内容	内容	この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に基づく「障害福祉計画」と障害者基本法第11条に基づく「障害者計画」を一体的に策定した計画であり、ともに法律で定められた計画です。障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等を通じて、令和3年度の地域移行や就労移行等の目標値を定めるとともに、目標に向けた令和3年度から令和5年度までの各障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービス提供見込量等を定めた我孫子市障害者プランに沿ってサービス提供の推進を図ります。		当該年度執行計画	我孫子市障害者プランの進捗状況の報告及び進捗管理・点検について、障害者総合支援法に基づき設置されている自立支援協議会で行います。						
		当該年度活動結果指標	計画数値の達成率	単位	%	想定値	100				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)		指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。		直接	計画の数値の達成率	%	100	100				
令和4年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。		直接	計画の数値の達成率	%		100				
令和5年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。		直接	計画の数値の達成率	%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	我孫子市障害者プランの推進を図るために、自立支援協議会に図りながら適切な進捗管理を行う。		代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		我孫子市障害者プラン策定・進捗管理 障害者プラン印刷製本費 障害者プランアンケート返信用封筒印刷 障害者プランアンケート送付 障害者プランアンケート返信	297 27 81 65	我孫子市障害者プランの進捗管理 令和3年生活のしずらさに関する調査 全国在宅障害児・者等実態調査員報償費 全国在宅障害児・者等実態調査協力者記 全国在宅障害児・者等実態調査員報償費 全国在宅障害児・者等実態調査協力者記	80 16 △80 △16			我孫子市障害者プランの進捗管理 障害者プラン印刷製本費 障害者プランアンケート返信用封筒印刷 障害者プランアンケート送付 障害者プランアンケート返信	297 27 81 65		
		予算(決算)額	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		
		470	470	0	0	0	0	470	470		
(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源	470		0	0	0		470		0		
その他の財源 <input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4			
正職員人件費	6,960	3,560	3,560	3,560	3,560	3,560	3,560				
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0				
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	7,430	3,560	3,560	3,560	3,560	3,560	4,030				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	74.3千円/%	35.6千円/%	35.6								
<b>2. 事業の評価 (DO+CHECK)</b>											
評価項目	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))			改善検討				
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に基づく「障害福祉計画」と障害者基本法第11条に基づく「障害者計画」を一体的に策定した計画であり、ともに法律で定められた計画である。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 自立支援協議会を核として、事業者、関係機関、関係団体等と連携をとりながら計画を推進した。			○要 ●不要				
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>  ○②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>			○要 ●不要				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 障害者プランの進捗状況や進捗管理について、自立支援協議会の意見を伺い内容へ反映させた。			参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ●不要			
環境への配慮	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			実施した具体的な内容			環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要			
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		達成状況 実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	●①目標値達成 ○②目標値未達成  <目標を達成した理由/未達成となった原因> 適切に計画にかかる進捗管理を行った。	○要 ●不要			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実施状況 実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①想定事業費未減 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過  事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ●不要			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		達成状況 実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下  <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ●不要			
<b>3. 事後評価</b>											
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)											
評価コメント	障害者基本法に基づく障害者計画と障害者総合計画に基づき一体的に策定した我孫子市障害者プラン (令和3年度から令和5年度) に基づき、サービス提供体制を整備し引き続き継続して推進していく。			改善策及び展開方向							

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (407), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.



事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (409), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 令和2年度 through 令和5年度.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future plans.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	411	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし	
<b>1. 事業の概要 (PLAN)</b>										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 障害を持つ方の働く場の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課		
	③事業主体	個別事業 視覚障害者マッサージ師の派遣	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数		1人 (換算人数)		0.05人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度		(当初) 2,155千円 (うち人件費 445千円)		(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ		○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市障害者プラン		
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的		視覚障害者の働く場として、我孫子市老人福祉センターつつじ荘及び我孫子市西部福祉センターでのマッサージ業を提供することにより、視覚障害者の自立の促進や福祉の増進を図ることができます。			
(3) 事業内容	内容	対象：市内に住所を有する視覚障害者で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律第3条の3第2項に規定するあん摩マッサージ指圧師の免許証を有する者のうち、我孫子市老人福祉センターつつじ荘及び我孫子市西部福祉センターにて福祉センターの利用者にマッサージを行うことを希望する者で、登録を申請し、登録決定された者 内容：登録された視覚障害者マッサージ師が、我孫子市老人福祉センターマッサージ師派遣の会の調整のもと、我孫子市老人福祉センターつつじ荘及び我孫子市西部福祉センターにて福祉センターの利用者にマッサージを実施します。 事業費の支払：マッサージ師1人につき1日2,850円を我孫子市視覚障害者マッサージ師派遣事業費として支払います。			当該年度執行計画		視覚障害者マッサージ師の派遣 我孫子市老人福祉センターマッサージ師派遣の会の調整により年間を通じて随時実施 派遣事業費の支払 4月、6月、8月、10月、12月、2月に我孫子市老人福祉センターマッサージ師派遣の会からの請求により支払います。			
		当該年度活動結果指標		視覚障害者の働く場の確保		単位	人	想定値	6	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類		指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	視覚障害者の福祉の増進を図ります。			直接		視覚障害者マッサージ師の人数		人	4	6
令和4年度	視覚障害者の福祉の増進を図ります。			直接		視覚障害者マッサージ師登録人数		人		4
令和5年度	視覚障害者の福祉の増進を図ります。			直接		視覚障害者マッサージ師登録人数		人		4
(7) 事業実施上の課題と対応	視覚障害者の就労環境の整備では、当面実施が必要な事業であり、より効果的な事業となるよう、PRを強化します。また、利用者増に向けた実施方法や場所について、マッサージ師派遣の会と協議・検討を行います。			代替案検討		○有 ●無				
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		視覚障害者マッサージ師派遣報償費	1,710		視覚障害者マッサージ師派遣報償費	1,710		視覚障害者マッサージ師派遣報償費	1,710	
	予算(決算)額	合計		1,710	合計	1,710	1,534	合計	1,710	合計
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源			1,710			1,710			1,710
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.05		0.05		0.05		0.05		
	正職員人件費	435		445		445		445		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,145		2,155		1,979		2,155		2,155	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	357.5千円/人		359.17千円/人		494.75					
<b>2. 事業の評価 (DO+CHECK)</b>										
評価項目		事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	視覚障害者の就業については、近年、パソコン等の情報支援機器の普及により、これらを活用するなどして雇用をめぐる環境も変化してきていますが、これまで重度の視覚障害者は、身体障害者の中でも一般雇用の割合は低く、あん摩マッサージ指圧、針、灸を中心とする自営に従事する方が多くいます。このような状況にある中、あん摩マッサージ指圧、針、灸業に晴眼者の進出等による施術料収入の減少などの課題があることから、視覚障害者の就労の場の確保と、収入の安定を図る必要があります。			○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 市内の視覚障害者マッサージ師の資格所持者数が減ったため。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他 □②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 □③その他の内容>			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 □⑦その他 <その他の内容> 該当なし			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ●不要
	環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 □⑥その他 <その他の内容> 該当なし			取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(人) 達成率(%) (f/b×100)		○①目標値達成 ●②目標値未達成  <目標を達成した理由/未達成となった原因> 市内の視覚障害者マッサージ師の資格所持者数が減ったため。		○要 ●不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実施状況 実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過  事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下  <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 市内の視覚障害者マッサージ師の資格所持者数が減ったため。		○要 ●不要
<b>3. 事後評価</b>										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				
	評価コメント									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (413), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (414), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (416), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1378), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫をしていないか?, (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1381), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 1882 課コード 0504 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 障害福祉相談・支援体制の充実... ②部課名 健康福祉部・障害福祉支援課
(2) 目的: 障害者とその家族を支援するため、いつでも気軽に相談できる体制を整備してまいります。
(3) 事業内容: 令和3年1月末現在で、身体障害者3,561名、知的障害者1,018名、精神障害者1,162名の方が障害者手帳を所持して...

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか？
(5) 目標設定は適切か？
(6) 事業費削減の工夫をしているか？
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善案及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2072	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	生活や活動の場の確保		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課	
		個別事業	障害者支援施設等の整備・充実							
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	令和3年度～			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.5人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	106,159千円 (うち人件費 4,450千円)			
				(変更後)		105,283千円 (うち人件費 4,450千円)				
⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市障害者プラン	
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	障害者等の地域社会における自立生活の場としての役割を果たしている障害者支援施設等の円滑な運営及び施設整備に関する支援をし、障害者の社会参加の促進を図る。				
(3) 事業内容	内容	・障害者支援施設等の運営及び施設整備に補助金を交付することで、障害者が住み慣れた地域で自立した日常生活及び社会生活を営めるよう支援する。 ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市内で障害福祉サービスを継続する事業所等を支援する。 ・施設の人員や設備の環境を整備し、運営を安定させる目的で法定施設に移行するための支援を行う。			当該年度執行計画	【運営費補助金】 ①補助金交付申請(12月) ②交付決定(2月) ③実績報告(4月) ④交付確定及び交付(5月) 【移行促進整備事業補助金】 ①補助金交付申請(7月) ②交付決定(8月) ③実績報告(2月) ④補助金の交付確定(3月) ⑤補助金交付(3月)				
		当該年度活動結果指標	延べ利用者数(グループホーム・生活ホーム・地域活動支援センター)	単位	人	想定値	241	実績値	260	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値	
当該年度	障害者等が希望する障害者支援施設を利用できるように、施設の運営団体に補助金を交付し運営を安定化させる。				直接	障害者支援施設利用者数/障害福祉計画における利用者数		%	100 100	
令和4年度	障害者等が希望する障害者支援施設を利用できるように、施設の運営団体に補助金を交付し運営を安定化させる。				直接	障害者支援施設利用者数/障害福祉計画における利用者数		%	100	
令和5年度	障害者等が希望する障害者支援施設を利用できるように、施設の運営団体に補助金を交付し運営を安定化させる。				直接	障害者支援施設利用者数/障害福祉計画における利用者数		%	100	
(7) 事業実施上の課題と対応	障害者の増加に伴い、障害者の日中活動の場と生活の場の確保は必要不可欠であり、今後も安定した運営を継続していくために財政的な支援を行う必要がある。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		グループホーム運営費補助	12,000	グループホーム運営費補助	11,000	11,000	グループホーム運営費補助	11,000	グループホーム運営費補助	11,000
		地域活動支援センター運営費補助	48,830	地域活動支援センター運営費補助	44,900	39,600	地域活動支援センター運営費補助	44,900	地域活動支援センター運営費補助	44,900
		生活ホーム運営費補助	6,132	生活ホーム運営費補助 (3月補正) 生活ホーム運営費補助	6,132 △876	5,030	生活ホーム運営費補助	6,132	生活ホーム運営費補助	6,132
		福祉医療機構借入金利子補助	84	施設整備資金利子補給金	77	71	施設整備資金利子補給金	77	施設整備資金利子補給金	77
		地域活動支援センター等移行整備補助	0	地域活動支援センター等移行整備補助	39,600	39,600				
		グループホーム等整備事業補助金	0	グループホーム等整備事業補助金	0	0	グループホーム等整備事業補助金	0	グループホーム等整備事業補助金	0
		* 障害福祉サービス事業所等感染症対策支	6,200							
		* 通信運搬費	11							
* 就労継続支援B型事業所等支援金	2,250									
予算(決算)額	合計	75,507	合計	100,833	95,301	合計	62,109	合計	62,109	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	2.4%	2,790	補助率	2.4%	2,480	補助率	2.4%	2,480
	県支出金	補助率	9.8%	10,914	補助率	9.8%	10,226	補助率	9.8%	10,226
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		61,803		88,127		49,403		49,403	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.55		0.5		0.5		0.5		
	正職員人件費	4,785		4,450		4,450		4,450		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		80,292		105,283		99,751		66,559		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		333.16千円/人		436.86千円/人		383.66				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	障害を持つ方が住みなれた地域で自立した生活を営むために、日中活動の場及び生活の場を確保する必要がある。しかし、増加する障害者数に対して、障害者福祉施設が不足することが予想され、新たな施設整備が望まれているが、市が整備の主体となることは財政的に困難であるため、法人等の民間活力を取り入れ行政との協働体制による事業展開を進め、民間事業者が新たな施設の設立支援や安定した運営を継続して行うための財政的な支援を行う。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> グループホーム等整備に対して財政的な支援を実施することで、障害のある方が住み慣れた地域で自立した生活を営むために住まいの場を確保。 ■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他		<その他の内容> 補助事業であるため。		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		○要 ●不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし。						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし。						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	100		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 障害のある方が住み慣れた地域で自立した生活を営むために住まいの場や日中生活の場を確保できた。	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	99,751		○①想定事業費未達 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過  ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.09	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	0.1		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 障害のある方が住み慣れた地域で自立した生活を営むために住まいの場や日中生活の場を確保できた。	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度から結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度から結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2082), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2292), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.